

分科会開催報告書

報告日 令和 5年 1月 14日(土)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 尾張藩主徳川慶勝①
開催日時 令和 5年 1月 12日(木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第二会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 9名 女 3名 合計 12名 (欠席者1名)	
<p>今回から「尾張藩主徳川慶勝」を学習。</p> <p>徳川慶勝は 14 代尾張藩主で尾張分家の高須藩 10 代藩主主松平慶建の次男。 初名は慶恕(よしくみ)。高須藩は尾張本家の世嗣がない場合に、然るべき人物が本家相続する役割を担っていたが、将軍家斉による「押し付け養子が4代続き、尾張藩の強い支援によりようやく14代藩主となった」</p> <p>高須4兄弟は①本人は尾張藩主、②徳川茂徳(5男,15代尾張藩主、後に一橋家を相続)、③松平容保(7男,会津藩主・京都守護職)、④松平定敬(8男,桑名藩主・京都所司代)と活躍した。</p> <p>1868年、慶喜追討の勅令が発せられた際に、討幕派の岩倉具視から徳川一門としての筋を通して旧幕府につくか、勤皇の志をもって新政府側につくか決断を迫られた時、慶勝は新政府側につき尾張領内・近隣諸国を「勤皇之道」へと説得し、東海道、中山道沿道の43の藩、447の旗本領を新政府側につけ西郷隆盛の軍勢を品川まで戦闘無しで進軍させたほか、第一次長州征伐の幕府軍総督として敗者長州に寛大な措置を執る等明治維新に果たした役割は大きい。</p>	
次回予定 令和5年2月9日(木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：尾張藩主徳川慶勝②	